第104期

株主の皆様へ

自2019年4月1日　至2019年9月30日　中間

『Open』The Future!!

包むこころを大切に、日本と世界へ新しい包装文化を発信する

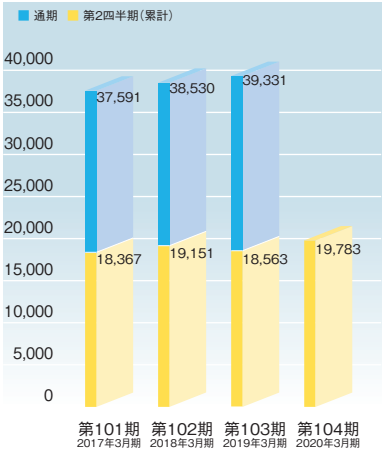
朝日印刷株式会社

証券コード：3951

FINANCIAL HIGHLIGHTS
財務ハイライト（連結）

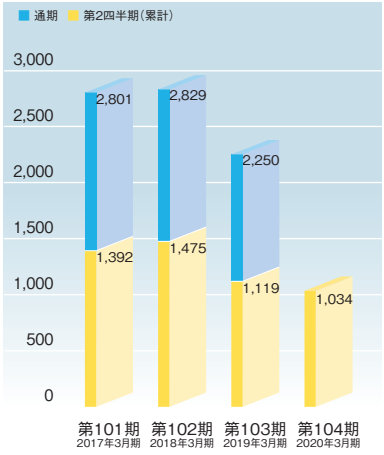
売上高

単位：百万円



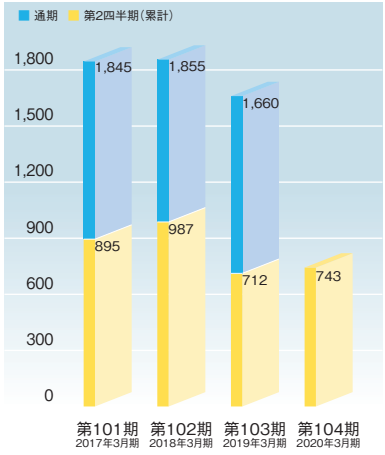
経常利益

単位：百万円



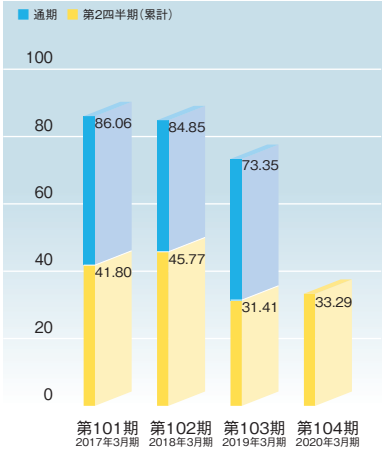
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

単位：百万円



1株当たり四半期（当期）純利益

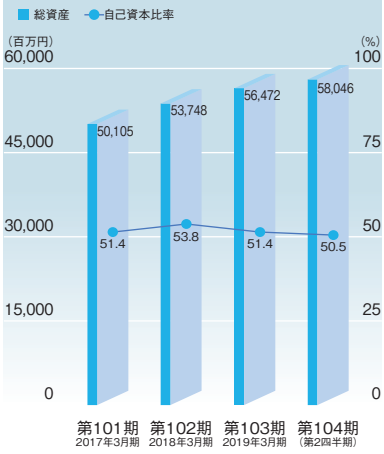
単位：円



※2018年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、株式分割を考慮した場合の金額を記載しております。

総資産／自己資本比率

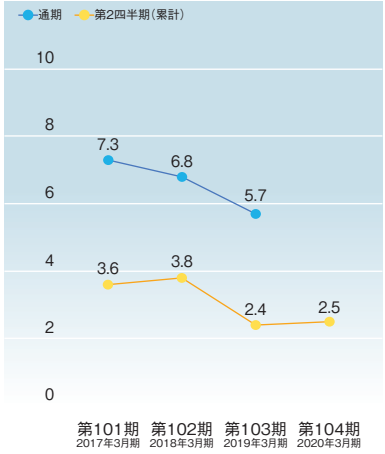
単位：百万円／%



※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第103期期首から適用しており、第102期については当該会計基準等を遡って適用した後の金額・比率を記載しております。

自己資本利益率（ROE）

単位：%



TOP MESSAGE
株主の皆様へ

株主の皆様には、平素から格別のご支援、ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、第104期上半期（2019年４月１日から2019年９月30日まで）の事業の概況をご報告いたします。

業界No.1の「印刷包材・包装企業」といたしまして、主力の印刷包材事業と包装システム販売事業を連携させた提案型営業を展開し、市場ニーズに即した製品の安定供給に努めてまいりました。当上半期の実績につきましては、別記「営業の概況」のとおり、売上高は前年実績を上回りましたが、経常利益は前年実績を下回りました。

売上高につきましては、主力の印刷包材事業においては、医薬品向け製品は前年実績を上回ることができ、化粧品向け製品は前年並みで推移し、事業全体は増収となりました。また、包装システム販売事業においても、前年実績を上回りました。利益面につきましては、原材料・物流コストの上昇等に伴う変動費や、増産体制構築に伴う労務費の増加により、減益となりました。

当下半期におきましては、中期経営計画「ＡＤ2021計画」を推し進め、印刷包材事業の増産体制を早期に整え、朝日印刷グループ一丸となり、お客様に信頼と安心を提供できる品質やサービスの更なる向上に努めてまいります。

なお、当期の中間配当につきましては、１株につき、普通配当10円とさせていただきました。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

2019年12月

代表取締役社長　濱　尚

SALES ACTIVITIES
営業の概況

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益を背景に、景気は引き続き緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、米中貿易摩擦の激化など不安定な海外要因による株価や為替の下振れ懸念もあり、依然として先行きに不透明感が残っております。

このような中、当社グループは中期経営計画「ＡＤ2021計画」の３年目をむかえ、激化する企業間競争に勝ち残るために、主要事業領域である印刷包材事業に、生産性向上を目的とした経営資源を投入することでモノ作り改革を進め、ぶっちぎりの商品力・技術力・開発力でお客様に最高の価値をお届けできる感動提供企業を目指しております。また、グループ内連携によるお客様対応力を強化し、更なる信頼関係の構築とグループ全体の企業価値向上に努めてまいりました。

当社グループの当第２四半期連結累計期間の売上高は、前第２四半期連結累計期間に比べ12億19百万円増（前年同期比6.6%増）の197億83百万円となりました。

利益面につきましては、売上高は増加しましたが、原材料・物流コストの上昇等に伴う変動費や、増産体制構築に伴う労務費の増加により、当第２四半期連結累計期間における営業利益は８億47百万円（前年同期比2.4%減）、経常利益は10億34百万円（前年同期比7.6%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は７億43百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

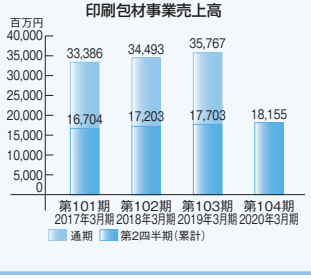
セグメント別の状況は次のとおりであります。

印刷包材事業

当社グループの中核事業であり、高度な印刷技術や優れた品質管理が求められる医薬品・化粧品の印刷包材（パッケージ・添付文書・ラベル等）に特化し、お客様・地域に密着した提案型営業活動を展開するとともに、高水準の品質保証体制をベースに、安定した製品の供給に努めてまいりました結果、お客様から高い信頼を得、業界No.１の地位を築いております。

売上高は、医薬品向け市場におきましては、医療用向け製品・ＯＴＣ向け製品とも前年実績を上回りました。また、化粧品向け市場におきましては、前年並みで推移いたしました。

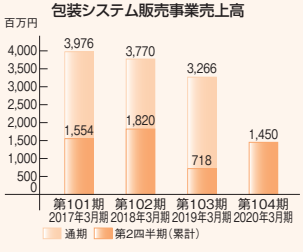
当第２四半期連結累計期間における印刷包材事業の売上高は、前第２四半期連結累計期間に比べ４億52百万円増（前年同期比2.6%増）の181億55百万円となりました。



包装システム販売事業

印刷包材と連携したトータル提案による、時流や得意先ニーズにマッチした新たな「包装」の開発を主眼とした包装機械や包装ラインの企画提案・仕入・販売を行っております。

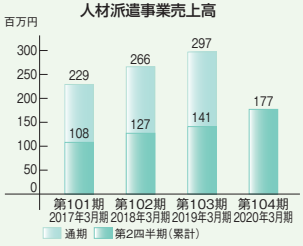
当第２四半期連結累計期間における包装システム販売事業の売上高は、前第２四半期連結累計期間に比べ７億31百万円増（前年同期比101.7％増）の14億50百万円となりました。



人材派遣事業

当社グループ内のみならず地域企業からの求人を受けて人材の派遣を行っております。

当第２四半期連結累計期間における人材派遣事業の売上高は、前第２四半期連結累計期間に比べ36百万円増（前年同期比25.9％増）の１億77百万円となりました。



通期の見通し

中期経営計画（AD2021計画）の３年目となる今期におきましては、京都クリエイティブパークにOTC向け医薬品パッケージ並びに化粧品パッケージを主体として製造する新棟の建設工事を行っております。市場からのニーズに迅速に対応し、朝日印刷の新たなモノづくりを創造する研究開発拠点として、また、富山地区と連携した供給体制を構築することで、お客様の更なる信頼向上に努めてまいります。

現時点での業績見通しは右のとおりであり、当初の計画に変更はございません。

	第104期連結計画	前期比増減率
売上高	416.9 億円	6.0 %
営業利益	18.2	△2.7
経常利益	20.8	△7.6
親会社株主に帰属する当期純利益	14.9	△10.3

FINANCIAL DATA
連結財務諸表

連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目＼期別	当第2四半期末（2019年9月30日現在）	前期末（2019年3月31日現在）
（資産の部）		
流動資産	**21,836**	**23,145**
現金及び預金	4,379	5,669
受取手形及び売掛金	13,678	14,253
たな卸資産	3,090	2,809
その他	702	439
貸倒引当金	△14	△26
固定資産	**36,210**	**33,326**
有形固定資産	**29,106**	**26,124**
建物及び構築物	8,490	8,570
機械装置及び運搬具	4,184	4,207
土地	7,782	7,765
その他	8,648	5,580
無形固定資産	**647**	**648**
投資その他の資産	**6,455**	**6,554**
投資有価証券	5,253	5,612
その他	1,210	945
貸倒引当金	△8	△3
資産合計	**58,046**	**56,472**

科目＼期別	当第2四半期末（2019年9月30日現在）	前期末（2019年3月31日現在）
（負債の部）		
流動負債	**13,672**	**14,295**
支払手形及び買掛金	7,359	7,933
短期借入金	30	30
一年内返済予定の長期借入金	991	1,031
賞与引当金	622	535
その他	4,669	4,766
固定負債	**14,776**	**12,880**
長期借入金	8,874	6,762
役員退職慰労引当金	529	551
退職給付に係る負債	1,358	1,316
その他	4,015	4,250
負債合計	**28,448**	**27,176**
（純資産の部）		
株主資本	**27,882**	**27,428**
資本金	2,228	2,228
資本剰余金	2,390	2,390
利益剰余金	24,227	23,775
自己株式	△964	△966
その他の包括利益累計額	**1,457**	**1,620**
その他有価証券評価差額金	1,535	1,707
退職給付に係る調整累計額	△77	△87
非支配株主持分	**257**	**247**
純資産合計	**29,598**	**29,295**
負債純資産合計	**58,046**	**56,472**

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

（単位：百万円）

科目＼期別	当第2四半期（累計）（2019年４月１日から2019年９月30日まで）	前第2四半期（累計）（2018年４月１日から2018年９月30日まで）
売上高	19,783	18,563
売上原価	15,465	14,417
売上総利益	4,318	4,145
販売費及び一般管理費	3,470	3,277
営業利益	847	868
営業外収益	291	334
営業外費用	104	83
経常利益	1,034	1,119
特別利益	172	13
特別損失	43	97
税金等調整前四半期純利益	1,164	1,035
法人税、住民税及び事業税	436	349
法人税等調整額	△26	△20
四半期純利益	754	706
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	11	△5
親会社株主に帰属する四半期純利益	743	712

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

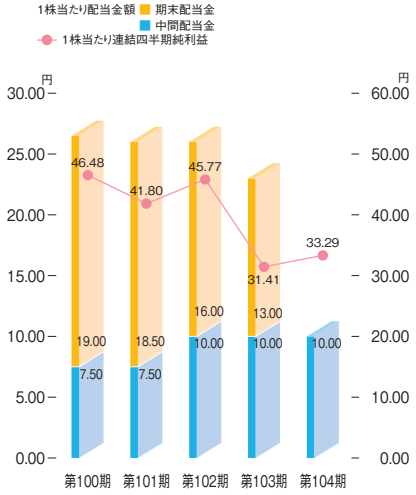
連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科目＼期別	当第2四半期（累計）（2019年４月１日から2019年９月30日まで）	前第2四半期（累計）（2018年４月１日から2018年９月30日まで）
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,547	1,312
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,291	△726
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,455	1,739
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,379	5,154

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

配当の状況



当期中間配当金につきましては、1株当たり10円とさせていただきました。

※2018年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、株式分割を考慮した場合の金額を記載しております。

第21回インターフェックスジャパン出展

2019年７月３日から５日まで東京ビッグサイトで開催された「第21回インターフェックスジャパン」に出展し、約1,700人ものご来場をいただきました。

企画開発部門から、意匠・機能面において新たな価値を提案するパッケージなどを、また、包装システム販売部門から、省人・省力化を目的として「協働ロボット」を用いた包装機械などを、多数紹介いたしました。

これからもお客様にご満足いただける画期的な製品の開発を目指し、全社一丸となって取り組んでまいります。

環境対応パッケージ

海洋プラ問題、企業のSDGsへの取り組みなどの背景による、化粧品市場における環境対応材料へのニーズの高まりを受け、植物由来成分を利用した環境対応パッケージを開発しています。バイオマスPETは25％が植物由来成分となっています。また、新たに開発中のバイオマスPPはシートの一部にバイオマス素材を使用しており、石油由来の原料の使用抑制に繋がります。

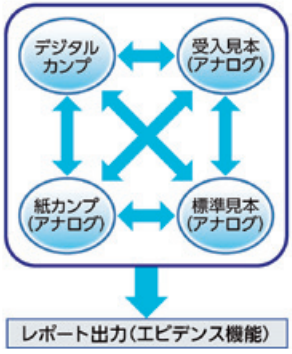
改ざん防止ケース（封改善）

医薬品包装の“封改善”の要望の高まりを受け、医薬品パッケージの天面と底部の隙間に注目した提案です。
天面と一体となったフラップが内側に折り込まれ、隙間を埋める工夫がなされています。これにより蓋の隙間からの異物混入を防止することができます。
底部分には朝日印刷特許取得品の脱落防止機能を付与し、底部の隙間にも対応しています。

朝日受入検査システム

添付文書、個装ケースなどの印刷物の検査装置として、お客様の受入検査時の工数削減・省人化の提案です。当社の品質保証体制の中で運用してきたノウハウを基にシステム化し、多数の販売実績があります。

版下校正作業 ▶ パッケージ / ラベル / 添付文書 / アルミシート ▶ 印刷包材の受入検査



◆原稿及び印刷物はスキャナーで取り込むだけの簡単操作。
◆デジタルカンプとアナログ印刷物との比較においても、安定した検出が可能。
◆画像確認した結果をレポートとして残す「エビデンス機能」を搭載。
◆検査結果は遠隔地で確認できるビューワソフトで対応。

セキュリティ輸送パッケージ「SHIP®」　開発　特許出願中

2019日本パッケージングコンテスト　輸送包装部門賞　受賞

開発の目的　SPLine株式会社／朝日印刷株式会社

近年、製薬企業各社にて、アンメットメディカルニーズを満たすためのスペシャリティ医薬品（希少疾病用医薬品）の開発が進んでおり、それらの中には生産量が限られ、高薬価なものが多く存在しています。そのため、廃棄ロスを無くすことと、流通業者の輸送から患者様に投与されるまでメーカー出庫と同質の品質管理が求められます。このような背景から、医薬品の出荷から患者様への投与までを厳格に管理し、安心安全な流通環境を提供することを目的として、SPLine株式会社と共同で「SHIP®」を開発しました。

特徴

◆温度ロガーを搭載し、管理温度をモニタリングすることができる。
◆薬剤の大きさや輸送する数量に合わせて、カスタマイズすることができる。
◆薬剤の一つひとつを個別に収納し、開封の有無を確認できるので取り出されていない薬剤の温度管理状態を監視できる。
◆輸送や保管時の医薬品の個包装の汚れ、誤開封を防ぐことができる。

朝日印刷ビジネスサポート株式会社　設立

2019年10月１日、特例子会社「朝日印刷ビジネスサポート株式会社」を設立いたしました※。「特例子会社」は、障がいのある方の雇用の促進・安定を図るために設立された会社のことです。朝日印刷グループは障がい者就業の機会創出を図り、障がいのある方が能力を十分に発揮し活躍する場を提供してまいります。朝日印刷ビジネスサポートは、朝日印刷から様々な業務を請け負い、業務の集約化・効率化に取り組むことで、朝日印刷グループになくてはならない存在として、企業価値向上に貢献します。また、障がい者と健常者が心と力を合わせて未来に向かってともに成長し、地域社会に貢献できる会社を目指します。

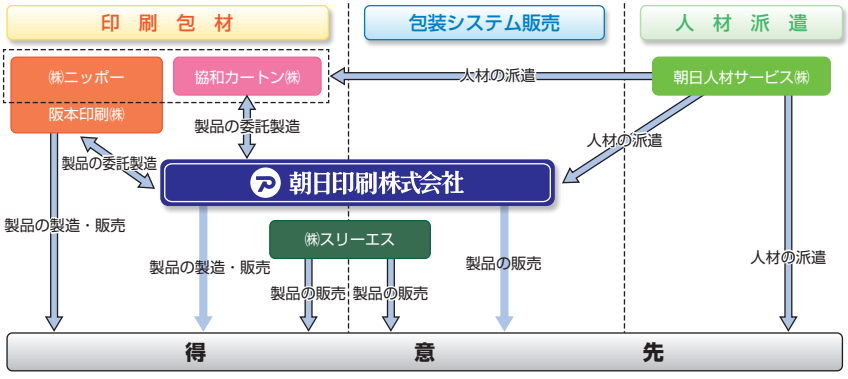
※朝日印刷ビジネスサポートは、事業開始以降、「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づく特例子会社の認定に向けた申請を行う予定です。

所在地	富山市婦中町板倉（朝日印刷㈱富山工場敷地内）
資本金	3,000万円（朝日印刷100％出資）
従業員数	14名（うち障がい者９名）※事業開始時点
事業内容	親会社朝日印刷の生産サポート業務、清掃・緑地管理業務

GROUP NETWORK
グループの状況

グループネットワークと
全国に広がる販売網で
ニーズにお応えいたします

朝日印刷グループ



富山工場/富山第二工場/富山第三工場

本社

富山東工場

富山南工場

クリエイティブセンター/富山営業部

協和カートン㈱

㈱ニッポー

朝日人材サービス㈱

京都クリエイティブパーク

金沢営業所

滋賀営業所

京都営業所

東北営業所

高崎営業所

宇都宮営業所

東京支店/メーク営業部/開発営業部

新宿支店

東海営業所

岐阜営業所

名古屋支店/㈱スリーエス

福岡営業所

熊本営業所

海外子会社
（シンガポール）

山口営業所

徳島営業所

三重営業所

奈良営業所

神戸営業所

阪本印刷㈱富田林工場

大阪支店/阪本印刷㈱本社

連結子会社

CORPORATE DATA
会社概要

会社の概況（2019年9月30日現在）

会社名	朝日印刷株式会社
本社所在地	〒930-0061 富山県富山市一番町1番1号 一番町スクエアビル
創業	1872（明治5）年
設立	1946（昭和21）年5月
資本金	2,228,753,776円
主な事業内容	印刷・包装資材の製造、販売
株式	東京証券取引所市場第二部
従業員数（連結）	1,592名（嘱託・臨時従業員および派遣社員は除く）
関連会社	阪本印刷株式会社 協和カートン株式会社 株式会社ニッポー 株式会社スリーエス 朝日人材サービス株式会社

株式の状況（2019年9月30日現在）

発行可能株式総数	86,000,000株
発行済株式の総数	23,284,929株
１単元の株式数	100株
株主数	2,563名

役員（2019年9月30日現在）

取締役・監査役

代表取締役会長	朝日 重剛
代表取締役社長	濱 尚
専務取締役	朝日 重紀
取締役	野村 良三
取締役	丸山 修
取締役	広田 敏幸
取締役	坂井 昭文
取締役	佐藤 和仁
取締役	松原 敏雄
取締役	堀口 達宏
取締役	山下 英二
取締役特別顧問	京免 美津夫
取締役（社外）	高田 忠直
取締役（社外）	水波 悟
常勤監査役	広瀬 達也
監査役（社外）	桶屋 泰三
監査役（社外）	古澤 昌彦
監査役（社外）	釣 長人

株主メモ

事業年度	毎年４月１日から翌年３月31日まで
定時株主総会	６月下旬
配当金	期末配当金受領株主確定日　３月31日 中間配当金受領株主確定日　９月30日
基準日	定時株主総会については３月31日。そのほか必要ある時はあらかじめ公告いたします。
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL　http://www.asahi-pp.co.jp/ （ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。）
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目２番１号 みずほ信託銀行株式会社

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル　0120-288-324 （土・日・祝日を除く 9:00～17:00）
各種手続お取扱店 （住所変更、株主配当金受取り方法の変更等）		みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗）でもお取扱いたします。
		みずほ信託銀行 本店および全国各支店（※） （※）トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行（※）およびみずほ銀行の本店および全国各支店 （みずほ証券では取次のみとなります） （※）トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

朝日印刷株式会社

本社　〒930-0061　富山県富山市一番町１番１号 一番町スクエアビル
Tel：076-421-1177（代）
ホームページ　http://www.asahi-pp.co.jp/

ホームページに最新の
情報を掲載しております。
ぜひご覧ください。